

中山みずほ 区政レポート

2023年5月より2期目
福祉保健常任委員会 副委員長
DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員
世田谷区都市計画審議会委員
立憲民主党女性議員ネットワーク事務局長

お困りごと、ご意見など
お気軽にお寄せください!

深沢在住。
会社員夫と
高1息子の
3人家族。

〒154-0015 世田谷区桜新町1-25-25
電話:080-4634-2547
Eメール:info@nakayamamizuho.net



公式ラインからもご相談できます!▶

2024年
春号

中山みずほプロフィール

- 世田谷在住20年。家族は夫と息子
 - '89都立大泉高校・'06産能短大卒
 - リクルート、ホテル日航東京など会社歴20年
 - 東日本大震災を機にNPOや地域活動に専念
 - 保坂展人政治スクール第1期生
日本政策学校第7期生
 - 2019年区議初当選
 - 2023年区議2期目当選
 - 立憲民主党女性議員ネットワーク事務局長
- 【特技】自転車こぎ、大人のぬりえ、お弁当を美しく詰めること

災害特集

世田谷区議会議員

中山みずほ

中山の本音トークも
炸裂!?ぜひ、ご参加
ください!



「区政をもっと身近に」と、毎月1回区政報告会を開催しています。世田谷区の最新情報、重要なトピックスについてお話しします。



年初めにひいたおみくじはナント「大吉」! これまで以上に強気で、区政のために尽力したいと思います。



中山みずほの議会質問
代表質問に
立ちました!

本会議代表質問
(2月20日)

- ① これからの区政運営について
 - ・令和6年度予算の重点施策(区長答弁)
 - ・人材戦略の必要性
 - ・女性管理職比率30%達成のために
 - ・区内認可外保育施設で起きた死亡事故を受けて
- ② 本庁舎整備工事について
- ③ 誰もが地域で暮らせる世田谷区となるために
 - ・訪問介護の基本報酬引き下げについて
 - ・福祉の公的責任における職員体制
- ④ 世田谷らしい地域経済政策について
 - ・建設工事総合評価方式入札の価格以外の項目を実効性あるものに
 - ・「非経済的価値」を含めた成果指標について
- ⑤ 男女共同参画の必要性とその意義について
 - ・世田谷区職員の男女間賃金格差について
 - ・女性施策や支援の必要性、「困難女性支援法」施行を踏まえて
 - ・男性特有の課題への支援を
- ⑥ 「まちづくり」における今日的な視点について
 - ・福祉、気候危機対策、ジェンダー、ユニバーサルデザイン等の視点を踏まえた都市整備を
 - ・都市農業の意義と農地保全について
- ⑦ 災害対策について
 - ・避難所運営、福祉避難所の課題と今後の方針
 - ・災害時の子どもの居場所、在宅避難について
- ⑧ 世田谷区立小中学校の「学校改革」に向けて
 - ・「探究的な学び」「主体的な学び」を進め、小中学校すべてにおける授業改革を

そのとき、
どうする?

災害時の「子どもの居場所」を!



能登半島地震の報道では、当初、子どもたちがどう過ごしているのかを伝えるものがなく、私はとても気になっていました。1月6日、SNSで初めて、NPO法人カタリバが珠洲市の避難所で「みんなの子ども部屋」をスタートさせたことを知り、その活動を追いました。その後、報道等でも流れてきましたが、「災害時、子どものことは後回し?」と懸念を抱きました。

避難生活が長期化すると、日常を奪われた子どもたちには様々な影響が出ます。避難所では大声を出したり、思いっきり遊ぶことができず、ストレスはたまるばかり。「友だちと会えない」「学習の停滞」「運動不足」といった課題も。また、子どもが保育園や学校に通えない状況は、保護

者が「仕事に行けない」「復旧作業を行えない」という問題も生みます。

世田谷区はどうする?



世田谷区では、妊産婦・乳児の福祉避難所の計画があり、6つの大学と災害協定を結んでいます。しかし、幼児・小学生の居場所に関する計画はありません。子どもは自発的な遊びを通して、不安や恐怖を乗り越えていくことが多いと言われていいます。災害時の子どもの「遊びの保障」を災害計画に位置づけることが必要ではないか?と本会議で問いました。区からは前向きな答弁が引き出せました。

中山みずほ レポート



▲ 議会での質問前に被災地の子どもの状況や必要なケアについて取材し、その内容を区の担当所管と共有しました。

能登町で「子どもの居場所」を作った方にインタビュー!

「避難所は、子どもと女性は後回し!」

そう言ってやや憤りを見せた木村聡さんにオンラインでお話を伺いました。避難物資が届き始めても、「子どもや女性に必要な“物資”も“場所”もなかった」と当時を振り返ります。発災12日目に能登高校の生徒と共に子どもの一時預かり「みんなのこども部屋わくわくぷらざ」を開設しました。「窓ガラスを割ってはいけない」というルールだけの自由な場所。子どもたちは大いに遊び、なんと学校再開後も20~30名の子が放課後に来るようになったとのこと。これは、もともとあった「子どもの居場所」へのニーズが顕在化したとも捉えられる、と木村さんはおっしゃっていました。



木村 聡さん

「能登高校魅力化プロジェクト」コーディネーター

小学生2人のパパでもある木村さん。自身も被災し、家族4人で避難所生活を余儀なくされました。



中山みずほ

議会質問

中山みずほチャンネル

マークのある質問は YouTube動画があります。



令和5年第3回定例会(9月20日~10月20日) 本会議 一般質問(9月22日)

- 1 気候危機対策の具体策としての公共施設・住宅の「断熱」について
- 2 「子どもの遊ぶ権利」について
- 3 思春期世代に向けた「包括的性教育」について
- 4 発達特性のある子どもの療育施設が足りないことについて

決算特別委員会

企画総務委員会所管質疑(10月4日)

- 1 区の女性管理職比率の目標値について
- 2 重点政策は部署が連携し横断的な施策を
- 3 6つの理念「参加と協働を基盤とする/区民の生命と健康を守る/子ども・若者を中心に据える/多様性を尊重し活かす/地域・地区の特性を踏まえる/日常生活と災害対策・環境対策を結びつける」が反映される施策を

区民生活委員会所管質疑(10月6日)

- 1 男女共同参画センターらぶらすの離婚などに関する講座運営、相談体制について
- 2 教育現場における「包括的性教育」の重要性について
- 3 新世田谷区庁舎における、区民が主体的に関われる仕組みについて
- 4 災害時を含め、地域・地区情報の広報について
- 5 地域行政における情報発信について

文教委員会所管質疑(10月13日)

- 1 福祉と教育現場をつなぐ スクールソーシャルワーカーの拡充
- 2 小中学生のネット利用に関する「世田谷ネットフォーラム」と、世田谷区のICT教育について

令和4年度決算認定に賛成の会派意見(10月20日)

- 1 行政計画:ジェンダー視点を。子ども・教育に関わる計画での子どもの権利・子どもの意見について
- 2 ベーシックサービスのあり方:医療、介護、教育、保育、障害者福祉などに携わる専門職の処遇改善を
- 3 経済政策:賃金アップにつながる労働報酬下限額の増額。中小企業やフリーランスの方への支援を
- 4 災害対策・緑政策:要支援者の個別避難計画や、在宅避難の計画策・訓練の必要性
- 5 教育と福祉の連携:スクールソーシャルワーカーの拡充を

令和5年第4回定例会(11月28日~12月7日) 本会議 一般質問(11月29日)

- 1 上用賀公園拡張事業の区民参加のあり方について
- 2 給食食材の有機米使用の拡大と産地連携について
- 3 高齢おひとりさまの身元保証等の支援について

／ 知っていましたか? ／



災害時、避難所に入れるとは限りません。 「在宅避難」が基本です

3月上旬に
在宅避難に関する冊子が
全戸配布されました!

大地震などの災害が起きたら、地域の避難所へ。と思いませんか?
世田谷区民92万人に対し、避難者数の想定は最大16万7000人。
区では、自宅に被害がなければ、自宅で生活を続ける「在宅避難」を推奨しています。そこで重要になるのが、自宅での災害に備えた備蓄。区は今年8月以降、防災用品カタログを全戸配布するとともに、区民1人につき3000円相当のカタログ用ポイントを付与する予定です。



▲防災教育に力を入れている区内中学校の生徒たちの声も参考にしながら作成された冊子です。ぜひ、ご覧ください。

食料

ローリングストックがおすすめ

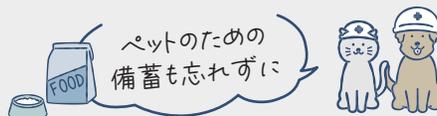


ローリングストックとは、備蓄した非常食を定期的に消費し、飲食した分だけ買い足していく方法。これだと、「いざというときに、期限切れ」といった事態を防げます。



東京備蓄ナビ

我が家に必要な備蓄を知る



水

給水ステーションも要チェック!



水は1人1日3L必要です。最低3日分の備蓄を。また、東京都水道局が設置する災害時給水ステーション(給水拠点)があります。区のホームページなどでお近くの拠点を確認しておきましょう。

世田谷区給水拠点

検索

トイレ



1週間で携帯トイレ35個が必要

トイレ回数は1人につき1日5回が目安。トイレが壊れて携帯トイレを使う場合、1週間で35個が必要に。また、避難所となる区立小中学校や公園等にはマンホールトイレが設置されています。



▲芦花公園や駒沢公園など都立公園にも設置されています。

電源

停電に備えていくつか確保!



スマートフォンの充電器は乾電池タイプ、ソーラー(太陽光発電)タイプ、両方用意しておく安心!

／ 全然足りてない!! ／

スクールソーシャルワーカーの拡充を

不登校、いじめ、貧困、虐待など、子どもを取り巻く課題が増加する中、教育現場に入り、福祉的支援につなぐスクールソーシャルワーカー(以下SSW)の重要性が高まっています。また、教員のメンタルヘルスケアにもSSWの役割は期待できます。教育と福祉の連携。その要となるのがSSWです。ところが、都内の各自治体ごとのSSW配置状況を調べてみた結果、世田谷区が一番少ないことがわかりました。世田谷区の体制は十分にほど遠い状態です。今後もSSW拡充を求めています。

世田谷区の現状

児童生徒約5万人に対してスクールソーシャルワーカーはたったの9人

児童生徒数が近い江戸川区と比較しても、その差は歴然としています。

世田谷区

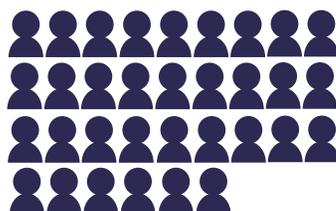
児童生徒数
約5万人



SSW 9人

江戸川区

児童生徒数
約4.7万人



SSW 33人

世田谷区のSSW配置は都内自治体平均の1/2。
(2023年10月時点)



基礎知識

似て非なる、
スクールソーシャルワーカーと
スクールカウンセラー



スクールカウンセラー
心理の専門職



スクール
ソーシャルワーカー
社会福祉の専門職

例えば不登校支援では…

スクールカウンセラーは、子どもや家族の心の側面に焦点を当て、心のケアを主な支援とします。一方、スクールソーシャルワーカーは、例えば不登校が起こった場合、家庭の問題や虐待、いじめや発達特性などが隠れていないか? など、その子を取り巻く環境に焦点を当て、学校や家庭、相談機関などに働きかけ、解決策につなげます。

